



## 50年守り続けてきた「非核神戸方式」が危機に。 3月24日、米艦船が非核証明なしに入港。抗議の声を!!



上:入港したウォーリア号

左:・上右 抗議集会に集まった人たち

神戸市は米艦船ウォーリア号の神戸港寄港を許可しました。神戸市は神戸市会が全会一致で採択した「核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否決議」(1975年3月18日)に基づいて、入港する外国艦船に非核証明書の提出を義務付けてきました。例外なしに提出を求め、全ての艦船が応じてきました。国是とする非核三原則を厳格に実施するものであり、日本国憲法、地方自治の原則の立場に基づいて50年間にわたって実行されてきたのです。それを今回神戸市が許可してしまったことで、米艦船だけ「特別扱い」することになり、今後も手続きが守られない可能性があります。神戸港を戦争の港にしない、非核・平和の港にするために、神戸市に今回の措置の誤りを認め、今後は従前の手続きを厳格に実施することを表明するよう、求めていきましょう。

### ◆抗議行動に参加された方の感想

役所前の集会は、300人くらいの集まりになったようでした。熱のこもった発言に、50年続いてきた非核神戸方式が、市議会に提案される事も無く、市長の一存で、ひっくり返された怒りが込められていて、頷きながら聞いていました。寄港した軍艦を是非見とかなければと、行ってきました。ものものしい警備で、遠くからしか見えなかったけれど、建物から見えた軍艦は、とてつもなく大きいなと思いました。金網には、センサーが張り巡らされ、たくさんの警備員、機動隊の大型車が、遠くに止まって警告灯が点滅していました。厳重に警備されてるのに、事の重大さを感じて帰ってきました。

### 核兵器の持ち込みを拒否する神戸市会決議

神戸港は、その入港船舶数及び取扱い貨物量からみても、世界の代表的な国際商業貿易港である。利用するものにとっては使いやすい港、働く人にとっては働きやすい港として発展しつつある神戸港は、同時に市民に親しまれる平和な港でなければならない。

この港に核兵器が持ちこまれることがあるとすれば、港湾機能の阻害はもとより、市民の不安と混乱は想像に難くないものがある。

よって神戸市会は核兵器を積載した艦艇の神戸港入港を一切拒否するものである。

1975年(昭和50年)3月18日